

令和5年度「ウェルビーイング指標に基づく自治体政策に関する調査研究」概要版

本調査研究の意義

- 従来の経済成長モデルでは、必ずしも幸福度や生活の満足度をもたらさないというジレンマが明らかになる中、GDPではとらえきれない幸福度や満足度をウェルビーイングという概念で表し、その測定などを通じて公共政策の改善に役立てていこうという試みが国内外で活発化している。
- わが国では、内閣府での検討や先行自治体による幸福度指標制定などの取組が進んでおり、ウェルビーイング向上は自治体の使命となっている。
- 本調査研究では、自治体における今後の大きな取組と考えられるウェルビーイング指標に基づく政策展開について、総合的に検討することとした。

各章

◆ 序章 「ウェルビーイング指標に基づく自治体政策に関する研究」 調査研究の概要

早稲田大学政治経済学術院 教授 稲継 裕昭（委員長）

1. 調査研究の背景・目的
2. 調査研究の流れ
3. 本調査研究報告書の概要

◆ 第1章 ウェルビーイング政策の潮流とこれからの論点

福井県立大学 地域経済研究所 准教授 高野 翔

はじめに

1. ウェルビーイング政策の原点としてのブータン王国
2. ウェルビーイング政策の世界と日本の潮流
3. ウェルビーイング政策のこれからの論点

おわりに

◆ 第2章 自治体のWell-being指標の政策の改善・立案への活用 に関する課題と展望

荒川区 管理部 職員課長 森田 修康

はじめに

- 1 自治体のWell-being指標作成の背景と動向
- 2 自治体のWell-being指標の政策の改善・立案への活用に関する課題
- 3 荒川区のWell-being指標の政策の改善・立案への活用に関する事例分析
- 4 Well-being指標の政策活用の展望

おわりに

◆ 第3章 自治体におけるWell-being政策の意義と展望 ～岩手県の取組を事例に

岩手県立大学 宮古短期大学部 准教授 和川 央

はじめに

- 1 自治体政策とWell-being
- 2 岩手県のWell-being政策
- 3 今後の展望

おわりに

◆ 第4章 富山県のウェルビーイング施策の展開

富山県 地方創生局 参事・ワンチームとやま推進室 市町村支援課長 滑川 哲宏

はじめに

- 1 ウェルビーイング推進に至る経緯
- 2 ビジョンの共有に向けた取組み
- 3 今後の課題

おわりに

◆ 第5章 ウェルビーイング指標と自治体経営

—ロジックモデルの実装によるウェルビーイング政策の展開—

高崎経済大学 地域政策学部・大学院地域政策研究科

高崎経済大学 地域科学研究所長 佐藤 徹

はじめに

- 1 ロジックモデル再考
- 2 行政組織への実装に向けて

おわりに

◆ 第6章 自治体職員とウェルビーイング

—職員のウェルビーイング向上とその計測を中心に—

獨協大学 法学部 教授 大谷 基道

はじめに

- 1 ウェルビーイングと職員のパフォーマンス
- 2 従業員ウェルビーイングの測定

おわりに

◆ 第7章 自治体におけるウェルビーイングのリアル

福井県 越前市長 山田 賢一

はじめに

- 1 幸福度からウェルビーイングへ
- 2 ウェルビーイング＝課題の解決
- 3 ウェルビーイング＝課題の解決＋居場所・舞台
- 4 課題解決型の総合計画へ
- 5 自治体経営におけるウェルビーイングの3つの機能
- 6 ウェルビーイング指標の考え方

おわりに